

リモートI/O R7シリーズ		
取扱説明書	HLS用、チャンネル間非絶縁8点、12ビットデータ	形式
	高速直流電圧入力ユニット	R7HL-SVF8NL

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・高速直流電圧入力ユニット.....1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU指令適合品としてご使用の場合

- ・通信ケーブルは、二重シールドケーブル（ZHY262PBA 伸光精線工業株式会社）を使用して下さい。二重シールドケーブルで十分なシールド効果が得られない場合は、フェライトコア（GRFC-13 北川工業株式会社または相当品）を取付けて下さい。
- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC ± 10 %、約 50 mA

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付けを行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

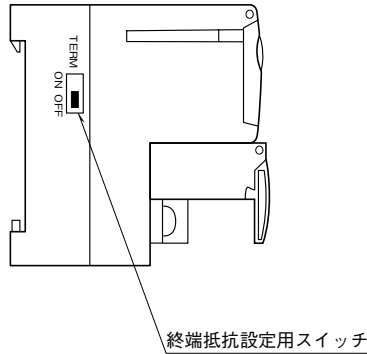
●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

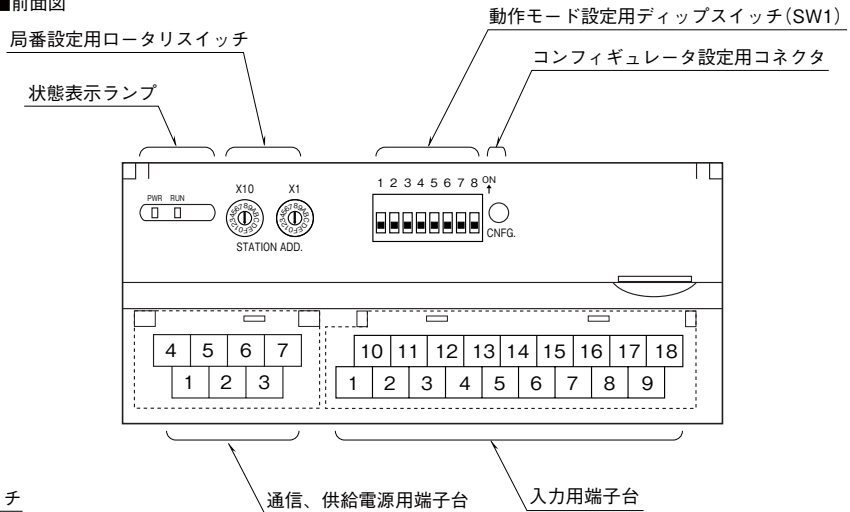
「HLS」は、株式会社ステップテクノカの Hi-speed Link System を表します。

各部の名称

■左側面図



■前面図



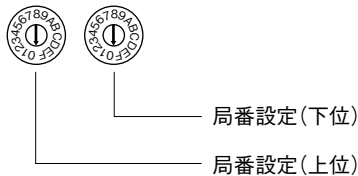
■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
PWR	緑色	内部 5 V 正常時点灯
RUN	緑色	リフレッシュデータの正常受信時点灯

■局番設定

リモート I / O ターミナルでは、局番 (16 進数) の上位桁を左のロータリスイッチで、下位桁を右のロータリスイッチで設定します。占有局数は 1 局です。

(設定可能範囲：01H ~ 3FH)



局番設定(下位)

局番設定(上位)

■動作モード設定

(*) は工場出荷時の設定

●入力レンジ設定 (SW1-3、4、5、6)

SW1-3	SW1-4	SW1-5	SW1-6	入力レンジ
OFF	OFF	OFF	OFF	-10 ~ +10 V DC (*)
ON	OFF	OFF	OFF	-5 ~ +5 V DC
ON	ON	OFF	OFF	0 ~ 10 V DC
OFF	OFF	ON	OFF	0 ~ 5 V DC
ON	OFF	ON	OFF	1 ~ 5 V DC
ON	ON	ON	ON	コンフィギュレータ設定

●伝送速度設定 (SW1-8)

SW1-8	伝送速度	
	付加コード：なし	付加コード：/3
OFF	12 Mbps (*)	3Mbps
ON	6 Mbps	未使用

注) SW1-1、2、7 は未使用のため、必ず“OFF” にして下さい。

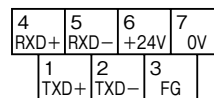
■終端抵抗設定

終端抵抗を有効にする場合にはスイッチを ON、無効にする場合には OFF に設定して下さい。

(出荷時設定 OFF)

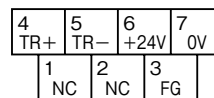
■供給電源と通信の配線

●全二重通信の場合



- ①TXD+ 通信ライン (スレーブ送信+)
- ②TXD- 通信ライン (スレーブ送信-)
- ③FG FG
- ④RXD+ 通信ライン (マスタ送信+)
- ⑤RXD- 通信ライン (マスタ送信-)
- ⑥+24V 供給電源 (24V DC)
- ⑦0V 供給電源 (0V)

●半二重通信の場合



- ①NC 未使用
- ②NC 未使用
- ③FG FG
- ④TR+ 通信ライン
- ⑤TR- 通信ライン
- ⑥+24V 供給電源 (24V DC)
- ⑦0V 供給電源 (0V)

■入力端子配列

10	11	12	13	14	15	16	17	18
V0	V1	V2	V3	NC	V4	V5	V6	V7
1	2	3	4	5	6	7	8	9
COM0	COM1	COM2	COM3	NC	COM4	COM5	COM6	COM7

端子番号	信号名	機能	端子番号	信号名	機能
1	COM0	コモン0	10	V0	電圧入力0
2	COM1	コモン1	11	V1	電圧入力1
3	COM2	コモン2	12	V2	電圧入力2
4	COM3	コモン3	13	V3	電圧入力3
5	NC	未使用	14	NC	未使用
6	COM4	コモン4	15	V4	電圧入力4
7	COM5	コモン5	16	V5	電圧入力5
8	COM6	コモン6	17	V6	電圧入力6
9	COM7	コモン7	18	V7	電圧入力7

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CON）の使用方法については、R7CONの取扱説明書をご覧ください。

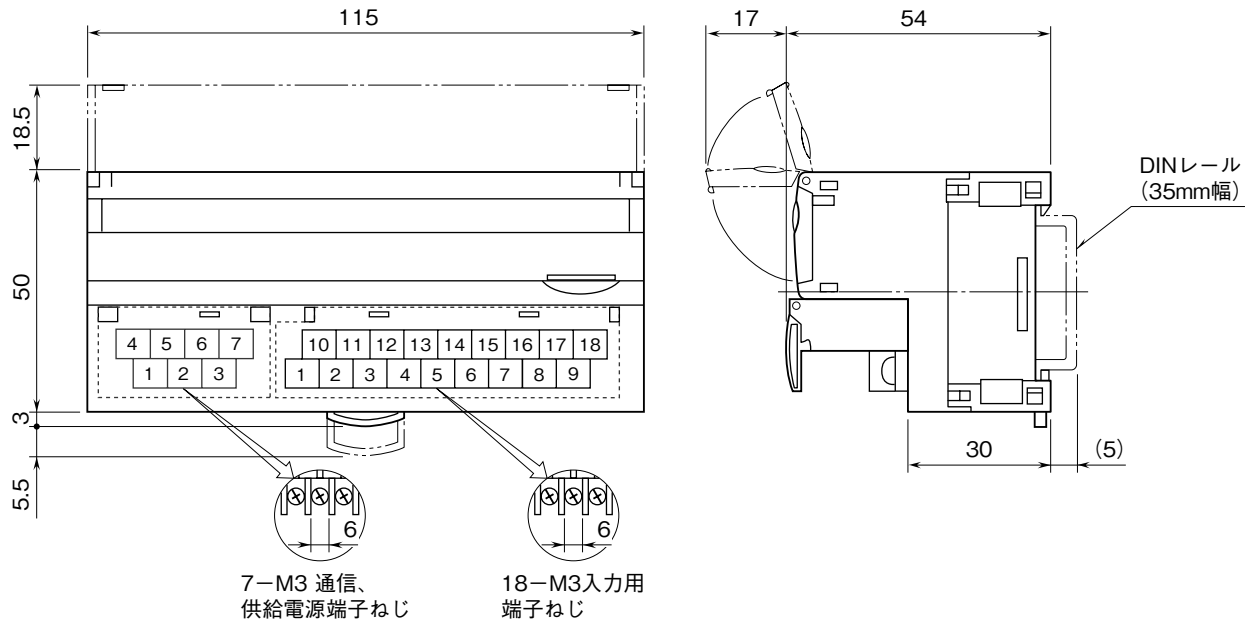
■チャンネル個別設定

項目	設定可能範囲	出荷時設定値
入力レンジ	-10～+10 V DC -5～+5 V DC 0～10 V DC 0～5 V DC 1～5 V DC	-10～+10 V DC
バイアス設定	-320.00～+320.00 (%)	0.00 (%)
ゲイン設定	-3.2000～+3.2000	1.0000

接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

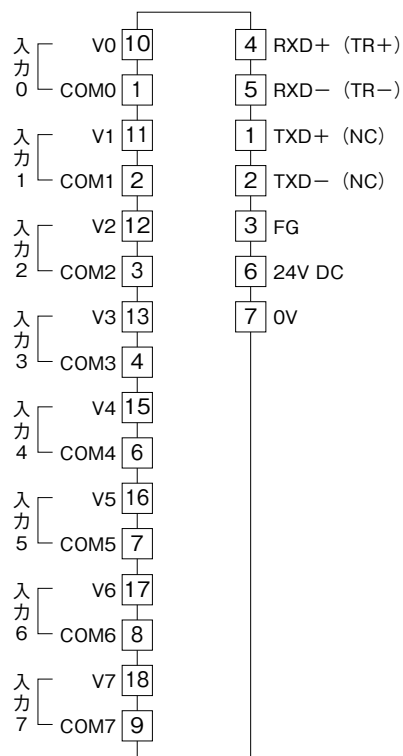
外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図

EMC (電磁両立性) 性能維持のため、FG 端子を接地して下さい。

注) FG 端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。

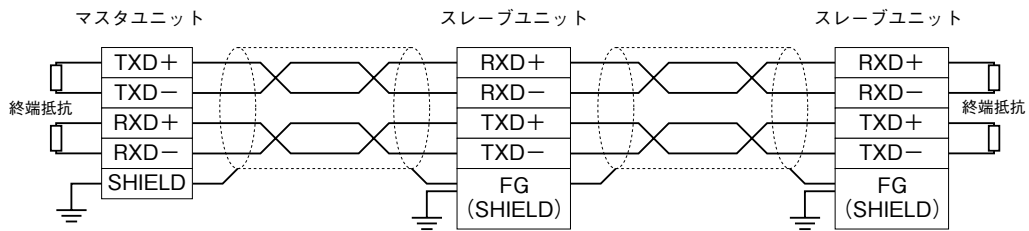


注) () 内は半二重通信時の接続です。

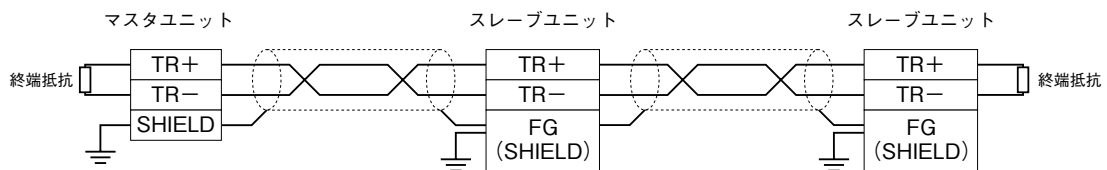
通信ケーブルの配線

■マスタユニットとの配線

●全二重通信の場合



●半二重通信の場合

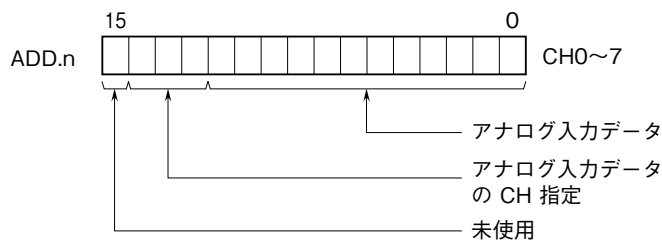


注) 両端のユニットには、必ず終端抵抗設定用スイッチをONにして下さい。

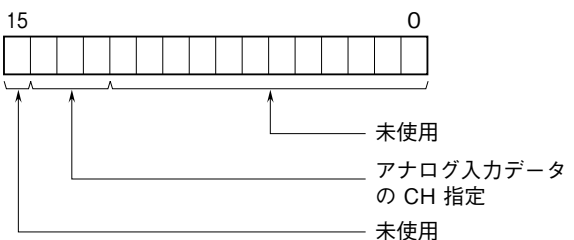
ビット配置

■アナログ入力

・Di領域



・Do領域



12ビットのバイナリデータで示します。

CH 指定ビットを使用して、8点の入力データを8回のスキャンに分けて伝送します。

■データ取得手順

- ① 上位プログラムから Do 領域のアナログ入力データの CH 指定ビット (ビット 12 ~ 14) に、所望の CH 指定ビット (下表参照) を書込みます。
- ② 1 スキャン後に Di 領域から、上記で指定した CH 指定ビットとその入力データが読み取れます。

チャンネル	CH 指定ビット	チャンネル	CH 指定ビット
0	000	4	100
1	001	5	101
2	010	6	110
3	011	7	111

配線

■端子ねじ

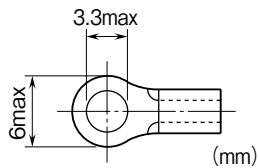
締付トルク：0.5 N・m

■圧着端子

圧着端子は、M3用の下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推奨圧着端子

- ・通信ケーブル：適用電線 0.2～0.5 mm² (AWG26～22)
推奨メーカー 日本圧着端子製造
- ・その他：適用電線 0.25～1.65 mm² (AWG22～16)
推奨メーカー 日本圧着端子製造、ニチフ



保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または運送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。